



— 本日のプログラム —

- ◆ロータリーソング『我等の生業』
- ◆2021～2022年度 年次総会
 - (1)2022～2023年度理事の発表
 - (2)主な事業の報告及び中間決算経過報告
 - (3)その他

第2798回例会（12月7日）報告

司会 今井善弘 S A A副委員長

- ◆開会点鐘 田谷昭宏会長
- ◆国歌斉唱『君が代』
- ◆ロータリーソング『奉仕の理想』
- ◆会長の時間 田谷昭宏会長

今日はロータリーソングについて話します。

「ロータリーソング、唄う前から鐘一つ」という面白い川柳がありますが、例会の時に歌を唄う風習は1907年、今から114年前のシカゴクラブで始まりました。ロータリークラブ創立後3年間、奉仕強調派と親睦派との間に激しい大論争があり、ギスギスしたクラブの雰囲気を変えようとハリ・ラグルス会員が「諸君、歌を唄おうではないか」と提案したのが始まりです。

ロータリーソングは世界で140曲、日本では25曲あります。日本の主なソングでは「奉仕の理想」「我等の生業」「それでこそロータリー」「手に手つないで」「四つのテスト」があります。この中の「奉仕の理想」は、1935年（昭和10年）に京都の地区大会を記念して募集され、当選したこの曲を作詞したのは京都ロータリークラブの前田会員です。歌詞の中に「御国に捧げん」とありますが、元々の詩は「世界に捧げん」だったそうです。

昭和10年は、日本が太平洋戦争へと突き進んで行った頃で、「御国」という言葉に変える事でアメリカが発祥のロータリークラブに世間の冷たい目が向けられようとしていた事から組織を守ろうとする苦肉の策だったのかも知れません。それでも「奉仕の理想」が発表された5年後には、日本のロータリークラブは国際ロータリーを脱退し、解散を余儀なくされました。

当時のガバナーに「御国に捧げん」に変えなければ当選を無効にすると言われた前田さんは、泣く泣く承諾したそうですが、「もし出来ることなら、いつの日か原詩の『世界に捧げん』に戻して頂ければ有難い」と遺言されたそうです。

◆幹事報告 池端速雄幹事

- ◎次週12月14日(火)の例会は、年次総会を開催致します。欠席の方は委任状の提出をお願い致します。
- ◎12月21日(火)の例会は、当ホテルが休館日の為、文化会館3Fに会場を変更して開催致します。
- ◎年末年始の例会日について
 - ・12月28日(火)は年末のため休会。
 - ・1月4日(火)は年始のため休会。
 - ・1月11日(火)は18時より新年家族懇親例会となります。

◎歳末助け合い募金の依頼が参っております。今から募金袋を回しますのでご協力をお願い致します。

◆出席報告 畝 和弘出席・ニコニコBOX委員長

12月7日の暫定出席率：66.67%
(出席18名、欠席9名)
11月16日の確定出席率：100%
(出席15名、欠席12名、メーク加算12名)

◆ニコニコBOX報告 畝 和弘委員長

・輪島税務署長 羽土征治様ようこそ輪島RCへ。卓話宜しくお願い致します。 田谷昭宏会長
・輪島税務署長 羽土様、インボイス制度の卓話宜しくお祈りします。 池端速雄幹事
・羽土署長、本日の卓話よろしくお祈りします。

久岡政治会員
・中城さん、ごぶさたです。税務署長 羽土さん、卓話よろしくお祈りします。 石橋賢良会員
・羽土署長様ようこそ輪島ロータリークラブへ。卓話をよろしくお祈りします。 大向洋紀会員
・お見舞頂きまして有難うございます。ガンも私の恐さで逃げていく事でしょう。 柴田 薫会員
・長い間、欠席で失礼致しました。 中城政弘会員

◆卓話 輪島税務署長 羽土征治氏
テーマ『インボイス制度について』

令和5年10月1日から「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」が導入されます。適格請求書発行事業者（登録事業者）のみが適格請求書（インボイス）を交付することが出来ます。

インボイスとは、売手が買手に対して正確な適用税率や消費税額を伝えるものです。具体的には、現行の「区分記載請求書」に「登録番号」「適用税率」及び「消費税額等」の記載が追加されたものを言います。

この制度は、売手である登録事業者は買手である取引相手（課税事業者）から求められた時は、インボイスを交付しなければなりませんし、買手は仕入税額控除の適用を受ける為に、原則として取引相手（売手）である登録事業者から交付を受けたインボイスの保存等が必要となります。このインボイス制度の登録申請書受付は令和3年10月1日から開始しております。



◆閉会点鐘 田谷昭宏会長

〔編集：古川 豊会員〕